



議会だより

でいすかす

84号

発行・登別市議会／編集・議会だより編集委員会／発行日・2016.11.1

登別市議会

で

検索

市議会ホームページで、本会議などの生中継と過去の議会映像をご覧いただけます



一般質問 議員12名が 市政を問う

平成28年第3回定例会

登別市における
観光振興について
井野正臣



今回の一般質問は、
①登別市における観光
資源のとらえ方につ
いて、②近隣自治体・国・

北海道との連携について、③森林を活用した体験型観光についての3点を本市の基幹産業である「観光」と関連づけることが今後の重点的課題であると認識し、質問しました。

観光資源のとらえ方として、市からは、

本市を訪れる外国人観光客にとって、マンホールの文様や自動販売機などが珍しく目に映るなど、観光資源に対する見方は非常に多様化しているとの答弁がありました。

近隣自治体・国・北海道との連携については、連携・取り組みに受動的な回答が多く、非常に残念でした。

体験型観光については、先進事例として、津別町の森林浴を活用した森林セラピー基地を取り上げ、併せて自身の体験を元に提案しました。それに対し、森林セラピーについて今後研究を進めていきたいとの答弁がありました。

障がい者の就労について
米田登美子



障がい者の就労の形態は、企業の理解のもと就労する場合と、就労継続支援事業を利用

して就労する場合があります。本市においてはB型事業所が多いという実態があります。

企業の障がい者雇用に対する理解促進のための取り組みや、雇用主への補助金活用の周知と障がい者への賃金確保、労働環境の改善に係る施設・設備への補助金の実態について質問しました。

市は、就労継続支援事業所の賃金確保のための施設整備や、労働環境の改善を図るための補助金については、国と北海道が行う社会福祉施設整備補助金と、北海道が行う地域づくり総合交付金があり、保健福祉部と観光経済部が連携し、事業所に情報提供を行っていくとの答弁でした。

また、「あいサポート運動」の周知により、障がいのある方への正しい理解を深め、差別解消を図っていくとのことでした。

就労継続支援事業…事業所での雇用が困難な障がい者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動などの機会を提供し、知識や能力向上のために必要な訓練を行う事業であり、雇用契約を結ぶ「A型」と、雇用契約を結ばない「B型」の2種類がある。
あいサポート運動…障がいに対する理解を深め、障がいのある方への手助けや配慮を行うことで、障がいのある無にかかわらず誰もが暮らしやすい社会の実現を目指した運動。